

市制施行55周年記念式典



11月3日、市民館で、市制施行55周年記念式典が行われました。

竹原コーラス”そよかぜ“による市歌の斉唱、吉名中学校3年の西川晃介くんと沖谷静香さんによる市民憲章の朗読、市政に対して功労があった個人や団体へ、表彰状や感謝状の贈呈が行われました。特別功労表彰の佐藤順一さんは、アニメ「たまゆら」の監督で、竹原市の芸術文化の発展や観光振興に貢献した功績により表彰されました。

最後に掛場の獅子舞が披露され、盛大な拍手とともに閉幕しました。



表彰状及び感謝状 贈呈者（敬称略・順不同）

特別功労

佐藤 順一

自治功労

小坂 智徳 榎野 幸枝
脇本 茂紀 新本 直登
吉田 基 竹鶴 壽夫
松本 進 三浦 正幸
西川 正彦 森下 一志
別祖 信代 久藤 孝仁
谷田 裕彦 西川 明生
山内 攻

体育功労

前田 征四郎

住民自治功労

岡田 文夫 山根 松彦
伊勢本 学 三浦 正人
土井 康博 賀利 清登
榎田 幸司 中務 福三

観光振興功労

たけはら観光ガイド会

感謝状贈呈者

株式会社テック
竹原ライオンズクラブ
千本桜守る会

社会福祉功労

宮本 正直 坂田 武文
吉本 裕子 櫻井 一馬
川崎 俊和 市川 隆三
蔵本 公子

学校教育功労

アヲハタ株式会社

社会教育功労

竹原市女性連絡協議会

学術、芸術功労

吟道賀堂流竹原山陽吟詠会

竹原頼山陽顕彰会

竹原町並保存会

竹原市竹工芸振興協会

竹原コーラス”そよかぜ“



おめでとうございます

秋の叙勲 受章者

11月3日、秋の褒章・叙勲受章者が発表されました。



天内 茂樹さん
(仁賀町)

天内茂樹さんは、旭日小綬章を受章されました。天内さんは、市議会議員としての24年間、仁賀ダムの建設に尽力され、議長を2年間務めました。現在も、賀茂川を守る活動を積極的にされています。

学校給食文部科学大臣表彰



10月31日、三重県津市で、吉名小学校が学校給食文部科学大臣表彰を受けました。

吉名小学校は、平成22年に栄養教諭を配置し、地場産物をふんだんに使った給食を取り入れ、地域で交流会を行うなど、食育活動に先進的に取り組み、長年の成果が今回の受賞につながりました。

広島県公衆衛生大会表彰

11月20日、廿日市市で行われた第54回広島県公衆衛生大会で、地域の公衆衛生の向上に努めている個人及び団体が表彰されました。竹原市からは、次の人が表彰されました。

広島県知事表彰 公衆衛生地区組織活動功労者

西中 重則さん

広島県環境保健協会表彰

井上 美津子さん

竹原市総合文化祭 市美展入賞者

文化の秋、市内の各会場で、総合文化祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。入賞者は次のとおりです。(敬称略・順不同)

市長賞

松井 フクミ (絵画)

議長賞

高野 信行 (工芸)

教育委員会賞

田中 澄子 (絵画)、有田 博行 (工芸)、
上垣 幸江 (書)、別祖 一義 (写真)

文化団体連盟賞

長岡 京子 (絵画)、土居 武 (工芸)、
木村 民子 (書)、市川百合子 (写真)

美術協会賞

田渕 幸子 (絵画)、宮原 須美 (工芸)、
新藤 豊美 (書)、吉木有為子 (写真)

奨励賞

六田 一徳 (絵画)、中川 香代美 (絵画)、海本
久雄 (工芸)、市川 泰徳 (工芸)、金子 裕美 (書)、
横畑 克子 (書)、室脇 千里 (書)、加島 武 (写真)、
片岡 昭二 (写真)、小林 昇 (写真)、植杉 清三
(写真)

問い合わせ たけはら美術館 ☎ 22-3558



竹細工グランプリ入賞者

10月20日、竹原商工会議所で、竹を素材とした作品を募集した「竹細工グランプリ」の表彰式が行われました。入賞者と作品名は次のとおりです。

シニア部門最優秀賞

田村紀郎さん

「人生も竹編みもいろいろ」



一般部門最優秀賞

森下文雄さん

「花籠 瀬戸の風雅」



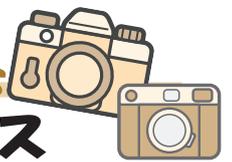
特別賞

奥田照彦さん

「竹原のまつり(動感竹細工)」



問い合わせ 商工観光室 ☎ 22-3558



夜の町並み 竹灯りに包まれて



10月26、27日、町並み保存地区とその周辺で、「町並み竹灯り」が開催され、夜の町並みと竹灯籠の風情を楽しみむらでにぎわいました。

また、憧憬の路特別企画として、11月2日、照蓮寺でコンサートが開催されました。うづらさんによる弾き語りの後、末延麻裕子さんによるヴァイオリンの演奏が行われ、本堂に響き渡る美しい音色に、来場者はうっとりとした。



本物の演劇に触れて 絆深まる ～竹原っこ夢プロジェクト～



11月2日、忠海中学校の文化祭で、3年生による劇「Dreamland of Alice」道標のウサギが披露されました。劇を指導したのは、東京の劇団「ヨリミチ」の今村裕次郎さん、石曾根有也さん、関博弥さんの3人。これは、ふるさと納税を活用した「竹原っこ夢プロジェクト」の一環で、「東京の劇団から劇の指導を受け、本物の演劇に触れたい。」という子どもたちの夢が叶えられたものです。

本番では、大きな声や迫力ある演技、色鮮やかな衣装で、観客を物語の世界へ引き込んでいました。

キング役として出演した3年生の村上真人くんは、「ヨリミチのみなさんには、動きを大きくするようと教えてもらいました。みんなで一丸となってできたので、楽しかったです。」と感想を話してくれました。本物の演劇を体験し、クラスの絆が更に深まる体験となりました。

こころに響く 子どもたちの歌声



11月9日、市民館で、竹原市子ども文化祭が行われました。開会行事に続き「竹原市学校緑化推進事業」と「お弁当料理コンテスト」の表彰式が行われました。学校緑化事業では、東野小学校が昨年に引き続き最優秀賞を受賞しました。その後、出場校6校による合唱が披露され、豊かな表現で会場の心をつかんでいました。

地場産物を使ったお弁当料理コンテスト 最優秀賞



「野菜と卵の蒸料理」
大下 未紗さん
(忠海中学校3年)



「峠下牛とアラハタマ
マレードの甘辛炒め」
堂免 海斗くん
(竹原西小学校4年)

60周年の節目をお祝い

11月1日、東野公民館で、創立60周年記念式典が開催され、表彰や記念講演会など60周年を祝う催しが多数行われました。東野小学校4年生とナツメコーラス教室による「ふるさと東野」の歌では、ふるさとを想う歌詞に来場者は聞き入っていました。



日々進化！ 学校の授業

10月16日に竹原小学校で、11月1日に中通小学校で、タブレットPC（※）を活用した公開授業が行われました。

授業で、児童はタブレットに自分の考えを書き込み、発表し合いました。タブレットは電子黒板とも連動し、児童がタブレットに書いた内容が瞬時に電子黒板に送信され、比較や発表もスムーズに行われました。市内の学校では、最新技術を取り入れた授業が行われています。

※タブレットPCとは、平板状でタッチパネル式などの表示・入力部を持った携帯可能なパソコンのことです。

地域を守る 懸垂幕

11月1日、竹原警察署で、竹原高等学校3年生の友廣美咲さんの標語（全国地域安全運動の標語「子どもと女性の犯罪被害防止」部門で最優秀賞を受賞）が書かれた懸垂幕の掲揚式が行われました。懸垂幕が子どもの見守り活動をさらに活性化させるきっかけとなりそうですね。



熱いパレードで盛り上がる

11月2日～3日、市内の各所で、「たまゆらの日」のイベントが開催されました。竹原駅前商店街では、ももねこ様の着ぐるみと、子どもやファンの人たちによるパレードが行われ、小雨が降る中にもかかわらず、商店街は熱気に包まれました。



咲かせよう 人権の花

11月13日～20日、市内の小学1年生に、人権擁護委員と法務局職員が「人権の花」（ヒヤシンス球根）の配付や紙芝居などを行いました。命の大切さと思いやりの心を学びながら協力して育て、2月頃色とりどりの花を咲かせるのが楽しみですね。



プロの音色に酔いしれる

11月13日、忠海中学校で、京都フィルハーモニー室内合奏団による「夢いっぱいコンサート」が行われ、生徒のほか、忠海西・忠海東小学校の児童や保護者が鑑賞しました。

生徒との合奏やヴァイオリン体験では、息の合った演奏に会場から拍手が送られました。「オーケストラの生演奏を間近で聴いたのは初めて。音が合っていてすごかった。」と感想を話してくれたのは、忠海中学校3年の西村浩輝くん。また、合奏団と共にサクソフーンを演奏した3年の嵩朱音さんは、「迫力ある演奏に圧倒され、感動した。」と目を輝かせていました。